

記者発表資料

とんやまち  
新4号国道 **問屋町交差点の立体化**により  
**渋滞が解消**しました。  
(問屋町立体開通後の交通状況についてお知らせします)

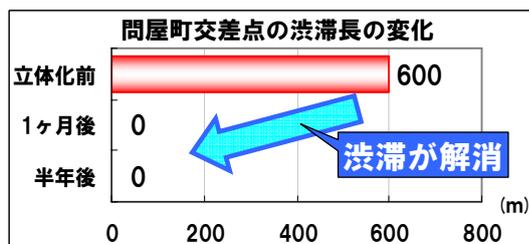
宇都宮国道事務所では、新4号国道問屋町交差点の渋滞を緩和するために、問屋町交差点の立体化を実施し、平成22年1月20日に立体部が開通しました。立体部の開通にともなう交通状況等の変化について、お知らせします。

●問屋町立体の開通により、

① **新4号国道の渋滞が解消**されました。

- ・最大600mあった渋滞が交差点の立体化により解消されました。

(立体化前:最大600m→立体化後:0m)



② **新4号国道の交通量が約1割増加**しています。

- ・新4号国道 (問屋町交差点付近) : **約6,200(台/日)増加**

(立体化前:約56,500台/日→立体化後:約62,700台/日)

③ **周辺道路の交通量が最大約2割減少**しています。

- ・市道(久保田交差点付近) : **約1,800(台/日)減少**

(立体化前:約8,500台/日→立体化後:約6,700台/日)

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、  
栃木県政記者クラブ、宇都宮市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

電話 028-638-2181 (代表)

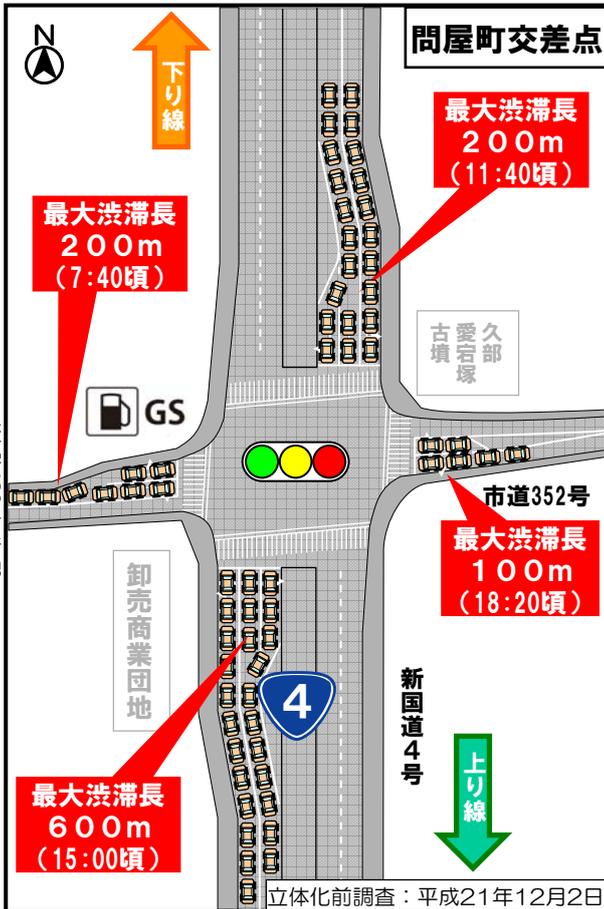
副所長 はやの 早野 ひでと 英人 計画課長 おおさと 大里 ひろと 弘人

# ①問屋町交差点の立体化により、新4号国道及び交差する市道の渋滞が解消しました。

- ・新4号国道 600m (立体化前) → 0m (立体化後)
- ・市道352号 200m (立体化前) → 0m (立体化後)

## 立体化前

至 福島



至 東京

## 立体化後

至 福島



至 東京

・交差点の処理能力を超える交通量により渋滞が発生

・交差点を立体化することで、交差点の通行がスムーズに。  
・半年後には交差する市道の渋滞も解消。

## 立体化前

立体化前の渋滞状況  
(福島方面を望む)



平成20年4月 撮影

## 立体化後

立体化後の渋滞状況  
(福島方面を望む)



平成22年5月 撮影

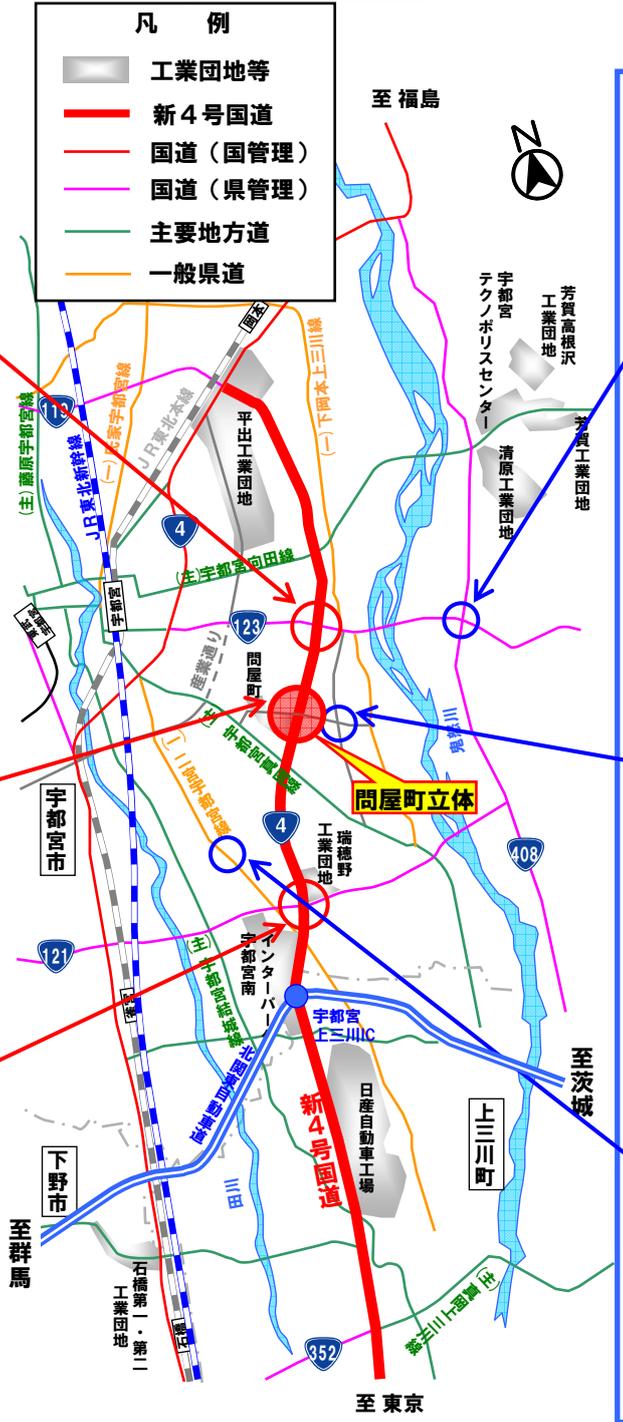
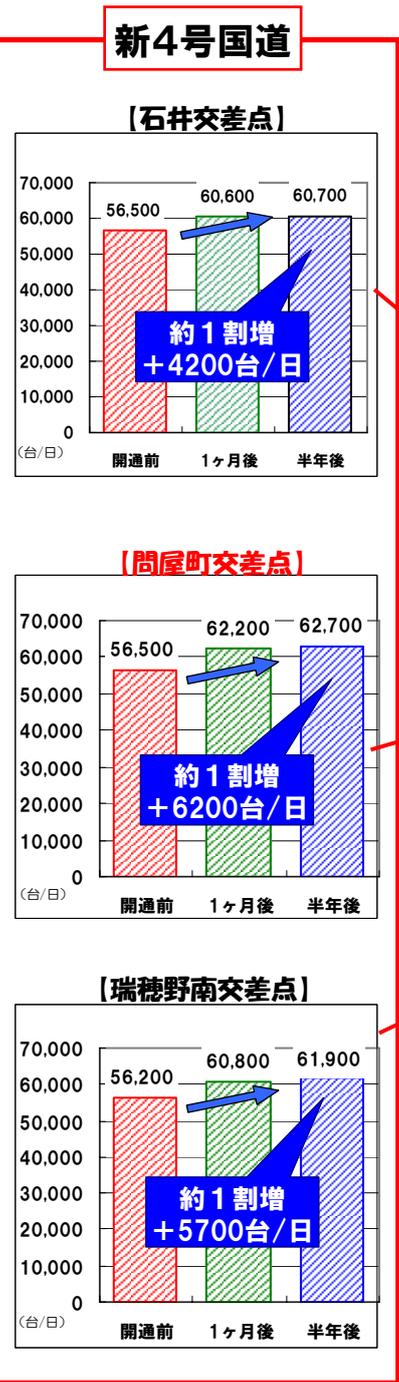
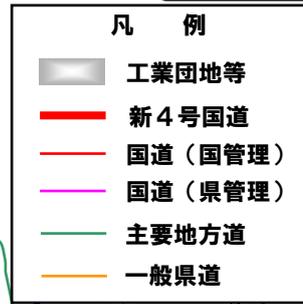
●問屋町交差点の立体化により新4号国道の利便性が向上したことにより、

②新4号国道の交通量が約1割増加しました。

③並行する周辺道路の交通量が約1～2割減少しました。

これにより、道路の安全性向上が期待されます。

### 位置図



立体化前：平成21年12月2日 観測結果  
 立体化1ヶ月後：平成22年2月16日 観測結果  
 立体化半年後：平成22年7月13日 観測結果

# 国道4号問屋町交差点の立体について

問屋町立体は、朝夕の通勤時間帯などに宇都宮市内へ向かう交通が集中していた平面交差点を立体化することにより、円滑な交通の確保を図ることを目的とした事業です。

平成22年1月20日に、立体部が開通しました。

